

6. 奈良県十津川村歴史資料調査

滝澤和湖

1. 十津川村村史編さん事業

文化情報学研究室では、2017年度から奈良県十津川村の村史編さん事業の一環として十津川村伝来の古文書及び歴史資料の調査・整理を実施している。この十津川村村史編さん事業には、本大学から東昇（教員）と水谷友紀（共同研究員）が歴史部会近世史担当として参加している。

2. 十津川宝蔵文書調査・その他活動

本調査は十津川村教育委員会南隆哲、大向翔太学芸員ご協力の下、2021年10月30日から11月2日に十津川村立歴史民俗資料館などにおいて実施された。調査参加者は、東昇、滝澤和湖（博士前期課程1回生）、正瑞千幸、長谷川巴南（以上4回生）、北原美咲、鈴木詩織、藤原あかり、吉富絵音（以上3回生）である。調査内容は主に宝蔵文書の撮影であり、箱は・ほ・にの文書撮影を行った。また、宝蔵文書調査以外の活動としては、風屋村・檜原村・瀬峡・田戸周辺への巡検を行い、文書史料の記述をもとに現地の確認等を実施した。

そして、東昇が11月1日に十津川村ケーブルテレビ番組の撮影において、歴史講座「古文書から大字の歴史を探る－歴史資料編の刊行に向けて－」と題して、十津川村の大字文書をはじめとした調査成果を報告した。

その他、十津川村史歴史史料編（近世1、宝蔵文書、大字・区有文書、年代記を収録）の刊行に向けて、関連史料の選定・翻刻・解説やコラムの執筆等を行った。



写真1 宝蔵文書調査の様子



写真2 ケーブルテレビ撮影